

# 平成 26 年度 予算施策評価表

様式1

施策名	最適な組織の構築と職員能力の向上	予算施策コード	sm03
担当部局名	総務部 管理局 人事課	評価責任者	課長 福井 琴樹
		連絡先	3081

## 1 施策の内容

施策の目標	厳しい財政状況の中、社会経済情勢の変化や新たな行政課題、多様化・高度化する県民ニーズに柔軟かつ的確に対応するため、事務事業や組織・機構の見直し、定員・給与の適正管理、行政サービスや公務能率の向上など、行政全般にわたる改革を進め、簡素で効率的な行政システムを構築する。研修制度を充実し、政策・企画能力を具え創造性等に優れた職員の育成を図る。また、職員が能力を十分発揮し、公務に専念できる基盤を整備するため、快適な職場環境づくりと心身の健康保持増進を図る。
これまでの取組み	・最適な組織とするため、市町村合併に伴う地方局等の再編など抜本的な見直しを行うとともに、平成7年度から定員適正化に取り組んでいる。 ・組織活力の維持及び向上を図るため、庁内公募や課長級昇任試験の実施等により、職員の意欲・能力・実績を重視した適材適所の配置に努めた。 ・給与制度の確実な運用に努めたほか、優秀な人材を確保する観点から、初任給の改善や人事委員会勧告を踏まえた能力・勤務実績を反映させた給与制度の見直しを行った。 ・職員の能力開発、資質向上及び風通しの良い職場環境づくりを図るため、海外への長期派遣の拡充や県内全市町との交流を実施したほか、「5つの意識改革」をはじめとする基礎知識の習得やスキルアップのための階層別・専門研修に取り組むとともに、表彰制度を実施した。 ・健康診断等による生活習慣病予防や疾病の早期発見、安全衛生委員会活動の推進による快適な職場環境づくり、互助会を通じた各種事業の実施など福利厚生事業の推進による職員の元気回復、ボランティア意識の醸成などに取り組んだ。

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	人口10万人当たりの職員数	B	人材育成数
選択理由	組織の規模を客観的に表す指標となる。	選択理由	高度化・多様化する行政ニーズに的確に対応できる職員を育成することが組織の命題である。
算定方法	一般行政部門職員数(4月1日現在)÷住民基本台帳人口(3月31日現在)	算定方法	研修所研修受講者数+長期派遣研修者数+海外派遣者数
成果と指標の関係	中	指標の種類	ストック
		成果と指標の関係	弱
		指標の種類	ストック

## 指標・事業費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費			
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算	国費	その他	県費
単位	人		%	人		%	千円			
24年度	-	263		2,374	2,461	103.7%	145,118		46,689	98,429
25年度	-	261	#VALUE!	2,361	2,361	100.0%	157,102		50,931	106,171
26年度	-		実績無	2,357		実績無	186,312	0	54,532	131,780
27年度 目標値										
最終目標										

## 2 施策の評価

県の関与の必要性	説明										
成果指標A	説明										
成果動向											
成果向上余地											
成果指標B	説明										
成果動向											
成果向上余地											
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	-	この欄は、成果動向評価後に表示されます。				成果向上余地	0.00	ほとんどない		

今後予測される環境変化	
-------------	--

